

令和4年度東京大学学校推薦型選抜

(法学部)

グループ・ディスカッション課題

注意事項

- (1) 審査員の合図があったら、この表紙を開いて課題文を読んでください。課題文を読む時間は5分です。
- (2) 5分後にまた審査員が合図をしますので、グループ・ディスカッションを開始してください。
- (3) ディスカッションの時間は85分です。指定された時刻までに議論を終結させてください。
- (4) 審査員は議論の進行に関与しません。決定のしかたや議論の進め方はみなさんで決めてください。
- (5) ディスカッション終了の時間までに、ディスカッションで到達した主要な結論をまとめてください。ただし、全員が同じ結論に到達する必要はありません。複数の結論を含んだまとめでも結構です。また、到達した結論について審査員にプレゼンテーションを行う必要はありません。
- (6) このグループ・ディスカッションはみなさんの論理的思考力、発想力、コミュニケーション能力、チームで作業する能力などを審査するためのものであり、思想・信条を評価の対象とするものではありません。
- (7) 課題冊子とメモ用紙はディスカッション終了時に回収します。課題冊子・メモ用紙への書き込みは審査の対象となりません。

東京大学は、その理念の一つとして「Diversity & Inclusion (多様性と包摂性)」を掲げており、その一環として、在学生における女子学生の比率を高める努力をしています。そのためにこれまで、女子学生のための住まいの支援、女子学生のための奨学金、さまざまな広報・イベント活動などの施策を展開してきましたが、そのような努力にもかかわらず、学部学生全体に占める女子学生の割合は20%前後にとどまっています。

女子学生を含め、東京大学はどのような点で学部学生の構成を多様化すべきでしょうか。また、その多様性を促進するために、東京大学はどのような施策を講じることができるでしょうか。東京大学の学部学生の構成について、促進すべき多様性の種類と、そのための施策を議論してください。施策については、長所と短所を検討した上で、なるべく具体的な制度設計を提案してください。